

オアシス通信



心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい

牧師
小山大三

2015年のために主が私たちの教会に与えてくださった御言葉(申命記6章5節)です。

「心を尽くし」とは、よく考えて自分の意志で信じ、愛するということです。「精神を尽くし」とは、誠心誠意の熱い思いと感情をもって信じ、愛するということです。「力を尽くし」とは、自分自身を持っているすべての力、つまり肉体的な力、知力、肉体的な力などすべてによって神を信じ、愛するということです。

私たちは本物の神である「主」を愛します。聖書では、まことの神は宇宙に唯一であり、天と地とその中に満ちているものの創造主であると教えています。聖書は、本物の神、「主」について、次のことを教えています。

1、神は霊です(ヨハネ4章24節)

本物の神は霊であって、姿、形がなく、目で見ることができません。また木や石や金属で表現できないお方です。人間は、自分の手で像を刻み、木や石や金属の神々を作り、拜んできましたが、聖書はこのような崇拜を偶像崇拜と呼び、禁じています。

2、神は全知です(ルカ12章6節—7節)

本物の神は、すべてを知っておられます。あなたのこと、私のこと、神の目には、すべてが明らかです。神の前に私たちが罪を隠しているなら、このことは恐ろしいことですが、神の前に正直に心を開いていけば、神が全知の神であることは、大きな慰めとなります。

3、神は全能です(ルカ1章37節)

神は天地万物を無から生じさせ、生命を支配することのできる唯一のお方です。このような力ある方を信じ、人生の諸問題をゆだねることができるならば、どんなに安心でしょうか。

4、神は聖く正しい(エレミヤ17章9節)

神の聖さと正しさは完全です。日本の神々や古代ギリシャ神話の神々のように道徳的にたためてはありません。本物の神の前に、人の義はぼろきれのようです。

5、神は愛です(1ヨハネ4章8節—9節)

神の御子イエス・キリストは、人となってくださり、あなたや私の弱さを知る者となりました。罪もないのに、あざけられ、のしられ、偽りの証言を受け、十字架にくりげ付けにされました。それは、あなたや私が罪赦され、永遠の命を受け、神の子どもとされ、神と共に喜びに満ちた一生を送るためでした。